

柏原市 のびのびだより⑨

柏原東小のびのびルーム「工作教室」

10月11日(水) 3年生 14:30~15:30 @東小図書室

市内各校が体育大会を終え、すっかり秋模様の10月上旬、今回ののびのび見学は柏原東小へ。今回は「工作教室」。
スタッフは、8名の更生保護女性会の皆さんでした。



印象に残ったのは、最初のあいさつです。進行担当の方が、「今日は、いつも朝の登校の時に門のところに立っているおばちゃんたちが教えます。」と自分たちを紹介。すると子どもたちは「あっ!」「知ってる!」と口々に反応します。続けて、「帰りの時間も黄色いジャンパーで立ってるの見たことある

かな?でも、おばちゃんたちは、黄色いジャンパーを着ていない時も、みんなのことは見守っているからね。」と伝えます。

自分たちが何者で、どういうことをしていて、どんな思いをもっているのか。それをちゃんと言葉で子どもた



ちに伝えることで、子どもたちは地域に見守られ、大切にされていることに気づけます。そしてそれは、新しい人と人とのつながりを生みます。



その後は、新聞紙輪投げと折り紙手裏剣を作り、的を立てて投げて遊びました。簡単な工作でしたが、大喜びで大騒ぎ。楽しくにぎやかな雰囲気にも包まれたのびのびルームでした。

作成：放課後こども教室推進事業運営委員会 事務局(教育部 社会教育課 川畑)

※各教室の取り組みを市内全域で共有し、本事業の活性化を図ることを目的として、見学の記録を作成し、送信しております。